

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立大宮東高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	普通科・体育科併設校の趣旨や特性、教育目標等を踏まえ、目指す学校像が設定されている。学校に寄せられる期待やニーズなどが把握されており、「文武両道を旨とし」という部分に反映させるなど適切なものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、授業の一層の充実等による生徒の学力定着などが重点目標として設定されている。学校が掲げるハイレベルな文武両道の実現に向け、学校評価懇話会等で寄せられる期待や生徒の実態等を踏まえ、更に検討・整理して、一層重点化することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標を踏まえて、今年度から新たな様式で分掌等のシートが作成されている。方策や評価指標における学校全体と分掌等の連鎖がやや不十分であるので、評価運営委員会等できよく議論しながら共通理解を図り、より具体的な方策や評価指標について検討・策定する体制を整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の目標に基づいて、分掌・学年・教科が目標や方策等を設定し、教育活動に取り組んでいる。全体的には方策がやや抽象的で前年踏襲型となっているので更に具体的にすると良い。評価指標については、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の中・長期的な課題を析出し、教職員一人一人の能力を生かして組織的に取り組もうとしている。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、積極的な生徒募集活動や学校の活性化のための「パワーアップ委員会」を立ち上げるなど、課題解決の方向を示し、組織的に取り組んでいる。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートを実施し、過去数年間の経年変化を追い、評価項目の達成状況の検証等に活用している。課題や次年度への改善策を明らかにする視点でアンケートの質問内容を工夫し、アンケート結果や学校関係者の意見等を更に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			